

## 専門職間連携教育は学生の認識を変えるか？ ～3科目の履修前後比較～

新潟医療福祉大学 作業療法学科 永井 洋一

### 【背景】

本学では開学以来保健医療福祉専門職間の連携教育（以下、IPE）を特色として実施してきた。その成果に関して既にいくつかの報告はなされているが、<sup>1) 2) 3)</sup> 学年進行に伴う IPE の効果について調査した結果はまだ発表されていない。専門科目の履修時間が増加するにつれて、自らの専門性に関する学生の認識が深まることは知られているが、それが他職種との連携や協働の認識に直接関連するか否かは定かではない。今回筆者は1年次の基礎ゼミⅡ（以下、科目A）、2年次の医療福祉連携論（以下、科目B）、および4年次の大学間連携ゼミ（以下、科目C）において、開始時と終了時に他専門職の業務に対する履修学生の理解や認識の変化について調査を行った結果を比較する機会を得たので報告する。

### 【方法】

対象は、科目Aが1年生595名、科目Bは2年生29名、科目Cは8大学の4年生42名であった。対象者は書面によるアンケート目的の説明を受けた後、5～10分間で回答を記入した。なお、科目Aは前後評価間に約4ヶ月の時間があるが、科目Bは2日間、科目Cは3日間の集中講義であった。また、科目AとCでは5段階の評定尺度、科目BはVisual Analogue Scaleを用いた。質問内容は他専門職の業務に関する理解、IPEに関する理解などを含む。

### 【結果】

科目Aの履修前後比較を表2に示す。IPEに関連する質問7（自学科の説明）、8（他学科の説明）、9（連携科目履修の重要性）、10（将来の連携の見通し）のいずれにおいても統計的有意差は見られなかった。科目BのIPEに関連する質問の履修前後比較を表3に示す。いずれの項目においても $P < 0.01$ の統計的有意差が見られた。科目CにおけるIPEに関する認識の履修前後比較を表4に示す。項目6を除くすべての項目で統計的有意差が見られた。項目6でもカイ二乗検定の結果 $p < 0.05$ で有意差が見られた。

### 【考察】

科目Aは1年次後期の開講科目であり、複数学科の学生で討議して保健医療福祉に関連するテーマを調査・発表するものの、その過程で自らの職業的アイデンティティや他学科との差異について認識するようになる学生はごくわずかと思われる。これに対して科目Bは2年次後期の開講科目であり、具体的事例をビデオで示し、その事例にとって望ましい生活を過ごすために必要な支援策を異なる学科の学生数名からなる小集団で検討して発表させた。その過程の中で自らの所属学科の専門的知識や技能について認識するとともに、他学科の専門性についても書籍やWebサイトを調べ、対象者にどん

表2. 基礎ゼミⅡ履修前後の認識比較

	履修前		履修後	
	平均	SD	平均	SD
質問7	2.53	0.70	2.83	0.71
質問8	1.92	0.75	2.26	0.77
質問9	3.40	0.83	3.49	0.84
質問10	3.35	0.85	3.44	0.84

表3. 医療福祉連携論履修前後の認識比較

	履修前		履修後		P値
	平均	SD	平均	SD	
自学科の説明	43.10	15.90	54.14	17.13	0.0005
ST学科の理解	17.26	12.89	33.61	15.23	0.0001
SW学科の理解	25.00	21.38	54.54	17.80	0.0030
HS学科の理解	23.21	16.84	41.46	20.12	0.0072
NR学科の理解	33.46	21.17	43.82	18.62	0.0004
AT学科の理解	21.32	13.56	44.68	18.64	0.0081
協働の可能性	69.41	24.49	75.31	23.44	0.0086

表4. 大学間連携ゼミ履修前後の認識比較

質問	1点		2点		3点		4点		5点		検定
	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	
1	0	0	0	0	0	1	15	3	28	38	**
2	0	0	1	0	9	5	24	20	9	18	*
3	20	30	21	12	2	0	0	0	1	1	**
4	0	0	0	0	3	1	18	6	23	36	**
5	0	0	1	0	1	0	18	10	24	33	*
6	3	3	13	13	19	8	2	10	6	9	$\chi^2$ *
7	0	0	0	0	4	2	23	14	17	26	*
8	0	0	0	0	5	4	22	12	17	27	*
9	0	0	0	0	8	0	19	10	17	33	***
10	0	0	0	0	2	0	16	3	26	40	***

【注】\*: $p < 0.05$ , \*\*: $p < 0.01$ , \*\*\*: $p < 0.001$ ,  $\chi^2$ :カイ二乗

なサービスが提供できるか認識が深まったものと思われる。科目Cは今年度初めて開講され、学生45名が教員の引率の元9施設を訪問して対象者と直接接触し、必要な支援計画等を立案した。履修者は既に学外実習などを体験してはいたが、他職種と密接にふれあって総合的な支援計画を考案する体験には乏しく、履修後の感想で「他職種の視点が理解できてよかった」「卒後に生かせる内容だった」などと述べる学生が多数見られた。今後はIPE科目の長期的な履修効果について、非履修者との比較など追跡調査が必要と思われる。

### 【文献】

- 1) 牧田光代, 村山伸子, 西原康行, 他: 新たな連携教育の試み～総合ゼミ試行2年間のまとめ. 新医福誌 6, 162-167, 2006
- 2) 遠藤和男: 医療福祉ティームワーク論の概要. 同上, 158-161
- 3) 高橋一栄: 基礎ゼミⅡの実践. 同上, 146-153